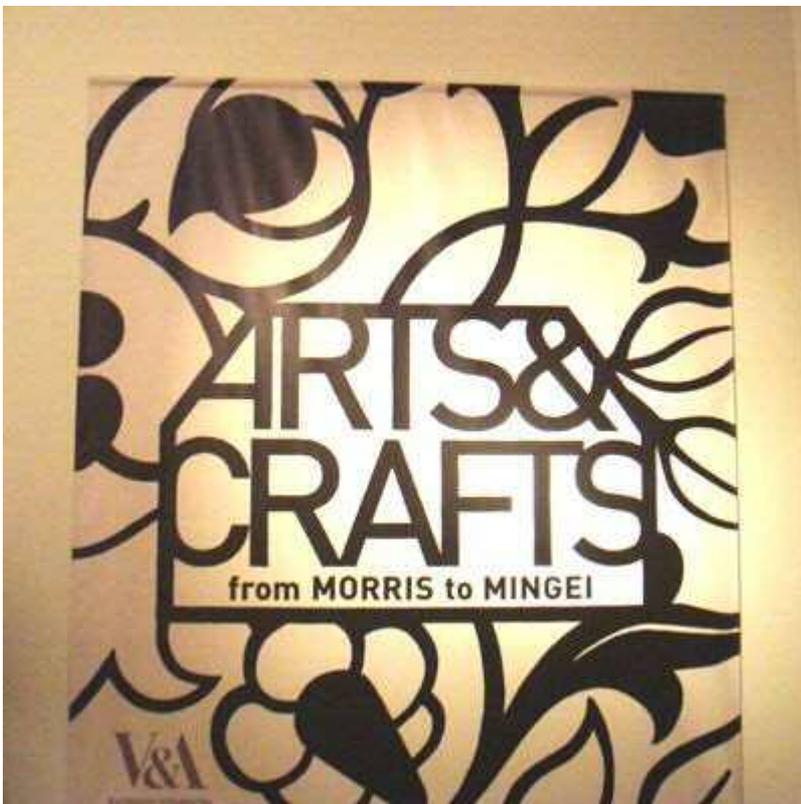


夏の猛暑も和らいできた今日この頃、秋の訪れを感じるようになりました。秋といえば、芸術の秋！  
というわけで、日本各地の美術館では様々な展覧会がオープンしています。

そんななか、京都国立近代美術館で始まった「生活と芸術—アーツ&クラフツ展」の開会式に出席してきました。この展覧会は、愛知県美術館で来年6月12日—8月16日に開催を予定しています。展覧会は同じ内容でも各会場によって趣向が異なるので、京都でご覧になられた方も、ぜひ当館にも足をお運びください。

それでは、展覧会の様子をいち早くご報告！



↑展示室入り口 展覧会のロゴがとてもユニーク

アーツ&クラフツとは、デザインや工芸の分野でも芸術性を求めた運動で、19世紀のイギリスで始まりました。



↑ 自宅で使いたいと思うような、かわいいデザインの食器

展示会の見どころは、家具や壁紙、ステンドグラス、食器などを配置して当時の室内空間を再現しているところです。



↑ 展示風景

展示会といえば、グッズも楽しみのひとつ！

今回はイギリスらしい小物など、かなり充実しているので、期待度満点です！

またこの展示会に関連して、「Life&Art」というキャンペーンをしています。そこでは日常生活でア

ートを楽しむコツを提案しています。芸術は難解だと思っている方、ぜひこのウェブサイト

(<http://www.asahi.com/la/>) に遊びに来てください！ちょっとした工夫や気持の持ちかたしだけで、アートは身近なものになるはずです。

(MRM)

愛知県美術館はこの秋、「ライオネル・ファイニング展 光のクリスタル」を開催します（10月17日-12月23日）。横須賀美術館・愛知県美術館・宮城県美術館を巡回するこの展覧会は、ファイニングの日本初の回顧展として非常に注目を集めています。

それで先日、すでに展覧会の始まっている横須賀美術館に視察に行ってきました。平日だったにもかかわらず、お客さんの入りはかなりのものでした。





会場では、横須賀の担当学芸員に、新聞連載漫画や木製玩具など、目玉となるファイニングー作品の展示方法についてとても参考になるアドバイスをいただきました。それらを活かして、横須賀に優る美しい展示を実現したいと思います。どうぞご期待ください！

(T0)

今日は、当館でおこなわれている教育普及活動の一つ〔先生方との鑑賞学習ワーキンググループ〕についてご紹介します。

先週の18日（土）に、〔先生方との鑑賞学習ワーキンググループ〕がありました。ワーキンググループとは、登録制の研究会で、鑑賞学習に関心のある先生方が月に1回のペースで集まり、鑑賞教育の事例研究や、美術館で実施する事業への協力、学校と美術館をめぐる鑑賞教育の課題についての討議などを担当の学芸員と共におこなっているものです。

今回のワーキンググループでは、次回開催の「アンドリュー・ワイエス -創造への道程-」に合わせて、実施予定の関連ワークショップとセルフガイド、鑑賞補助教材についての話し合いがおこなわれました。



### ▲美術館の会議室にて

ワークショップについての意見交換では、どのようなアプローチが小・中学生に有効なのか、美術館ですべき活動はどのようなことなのかなど、先生の側からみた意見も多く出て、活発な意見交換ができました。今後も話し合いを重ね素敵なワークショップ、セルフガイド、鑑賞補助教材にしていきます。



▲ワーキンググループ終了後も、多くの先生方が残り意見交換をしていました。

ワークショップの内容や日程は未定ですが、近日中にお知らせしたいと思いますので、ぜひ参加していただきたいと思います。先生方との協力によってどのような内容のワークショップやセルフガイドになるのか、楽しみにしててください。

(RK)